H３０（２０１８）

速　報４月号　NO. 378

編集・発行　一般社団法人広島県臨床検査技師会
事務所 FAX　082-502-6031
発行日　平成 30(2018)年 3 月 28 日

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

4月

ホームページ　http://www.hiroringi.or.jp/
（モバイルサイト　http://mw.hiroringi.or.jp/　）

C O N T E N T S

ページ　項　目

レポート≪Report≫

2　平成 29 年度　第５回理事会　報告
5　平成 29 年度初級・職能開発講習会　報告
　平成 29 年度初級・職能開発講習会　アンケート報告
8　第 35 回広島県医学検査学会　実行委員長報告
　第 35 回広島県医学検査学会　広報部レポート
9　優秀演題賞をいただいて

ご案内　・お知らせ≪ Information ≫

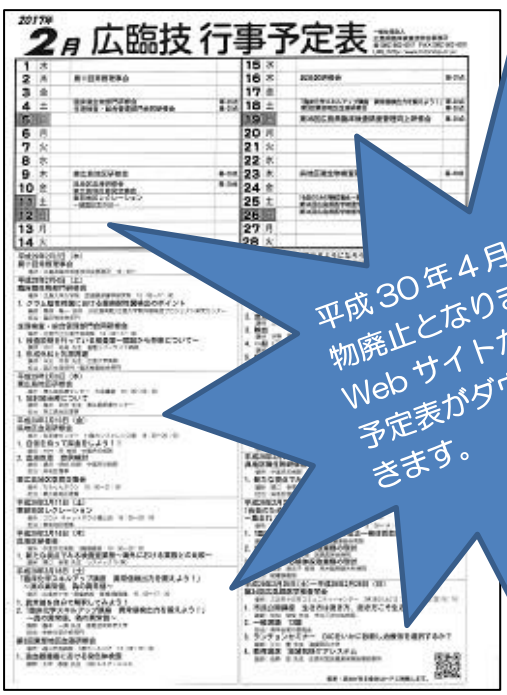
１０　ピンクリボン de カープ　ボランティア募集のご案内
１１　広島・西部地区レクリエーションのご案内

第３５回広島県医学検査学会は終了しました

速報・行事予定表（印刷物）は平成３０年３月をもって廃止となりました

速報と行事予定表は広臨技ホームページよりダウンロードできます。広臨技 ML コミュに加入して、お知らせや研修会の案内を入手しよう。

QR コードで簡単登録できます



平成３０年４月号から印刷物廃止となりました。Web サイトから速報・行事予定表がダウンロードできます。

平成２９年度　第５回理事会報告

平成 29 年度第 5 回理事会が 3 月 3 日（土）に開催されましたので報告します。

【会長あいさつ】

奥田理事、県学会の準備お疲れさまでした。今までになく綿密な打ち合わせをされてしっかりした学会になるのではないかと思います。もう始まりましたから大丈夫だと思います。

＜報告事項＞

【会長から報告】

- 2/8 広島県健康福祉局薬務課より「輸血用血液製剤の使用時の安全確保措置の周知徹底について」の案内があり、HEV 感染有無について調査できる体制を各病院でとるようにしておかなくてはならない。
- 2/16 広島県地域保健対策協議会より「院内感染対策サーベランス（JANIS）からお願い」で薬剤師会と共に薬剤耐性に関する情報を集め発信していく
- 広島県健康福祉局健康対策課より「広島県結核予防推進会議委員推薦」について広臨技として委員に桑原理事を推薦する

【事務局から報告】

- 平成 30 年、31 年度の役員改選について 3/14 に役員推薦委員会を開催します。この委員会にて委員長決定とその後の日程調整をとってもらう。委員長未決定なので水野会長、森田副会長に同席してもらい会議を進める。
- ホームページ準備委員会より 3 社から見積りをとりました。米田副会長に同席してもらい話をすすめる。2/14 アサクラソフトの話を伺った。また広大診療支援部で使っている個人の方とも話を伺い、今後この 2 社のどちらかに決め理事会で承認を諮る
- 情報システム委員会より 2 月は会議が不成立でした。
- 広臨技ＭＬコミュの登録状況は　会員 1769 名施設数 203 で一般会員の登録は 21.2%(403 名)施設登録は 69%です。速報配布が廃止になったので総会資料を配布することになる。議決権行使の行使書もあわせて配布
- 4/12 事務所にて第 1 回常務理事会を 17 時、第 1 回理事会を 18 時半に開催し総会資料を審議してもらう（経理部以外）
- 5/10 第 2 回常務理事会　5/24 議決権行使書の地区理事提出期限　5/31 第 3 回常務理事会　6/9 ホテルニューヒロデンにて定期総会および表彰祝賀会　開催予定

【学術から報告】

- 平成 30 年 31 年の学術部門員の応募を今月末までとし速報に掲載している
- 3 月中に微生物アンケートを責任者と微生物担当者あてに配布予定（オプトアウト方式）
- シスメックスより学術研修会を共催できないかとの提案に常務理事会で承諾された。内容として各部門が業者と内容をすりあわせていく。日臨技として講師料、交通費の負担軽減にもなる。日臨技の点数も申請可能である。業者としても会場確保や研修会の周知徹底が可能であり双方ともメリットがあり共催可能となった。但し業者色が強くならないように注意する。(地区でも可能)

【経理から報告】

- 平成 30 年度予算案が 9 割完成
- 平成 29 年度決算がはじまっており協力をお願いします。

【渉外法規から報告】

- 5/13 ピンクリボン de カープ　ボランティア申込は各自ダウンロードして事務所へ FAX する。ML でも流す予定です。広臨技としてブースを出すので学術の方に協力をお願いします。

【組織調査から報告】

- 2/18 初級・職能開発講習会に 46 名の参加がありました。概ね好評であった。

【広報からの報告】

- 2/23 速報 3 月号を発送しました。印刷した速報の発送は 3 月で最後となりました。
- 事務所の細川さんより送料削減・作業の簡素化のため「8 月に発行している会誌と学術誌（広島臨床検査）を同時に発送」や「学術誌と県学会抄録の同時発送」の提案があったが会誌を学術誌発送に合わせると遅すぎ、学術誌を県学会抄録に合わせると表彰委員会に間に合わないので通常どおり会誌は 8 月、学術誌は 12 月、抄録は 2 月になりました。
- 求人情報と研修会情報はホームページ閲覧とし速報には掲載しないこととなった。
- ボランティア募集等は速報掲載しダウンロードしてもらい FAX にて申し込んでもらう。
- 速報締切は毎月 10 日まで、20 日までに編集し、常務理事の方にチェックしてもらいホームページにアップロードする。
- 地区理事へお願いです。登録数が少なく情報が伝わらないところが出てくる可能性があるのでＭＬ登録の周知をお願いします。情報システムよりリストをだしてもらい周知を行う。

【地区報告】

＜広島地区＞

- なし

＜呉地区＞

- 本日は協力をお願いします。理事の方は水色のネームホルダーを着用してください。

開催日	事業名	参加人数
2018/01/18	呉地区輸血談話会	11
2018/01/19	新年会（意見交換会）	42
2018/02/02	呉地区微生物研修会	10
2018/02/09	呉地区血液研修会	23
2018/02/22	呉地区研修会	29

- 2018/01/23　第 7 回　呉地区委員会（県学会）
  2018/02/06　第 8 回　呉地区委員会（県学会）
  2018/02/22　第 9 回　呉地区委員会（県学会）
-

＜東部地区＞

開催日	事業名	参加人数
2018/01/25	第 5 回生涯教育講座（東部地区）	59 名
2018/01/27	第 1 回東部地区輸血検査研修会	26 名
2018/02/10	東部地区血液検査研修会	41 名
2018/02/24	東部地区レクレーション	12 名

- 2018/03/10 東部地区生理検査研修会

＜東広島地区＞

開催日	事業名	参加人数
2018/02/01	がん関連研修会（がん検診の取り組みについて）	17 名
2018/02/09	東広島地区意見交換会	27 名

＜北部地区＞

- なし

＜討議事項＞

【会長】

- 精度管理規約の改訂について
  精度管理委員会と標準化委員会の組織があるがきちんとした区別ができていないこと。標準化事業は技師会の単独事業で精度管理委員会は医師会の精度管理事業と共催の事業であります。
  一昨年より精度管理のデータ処理を JAMTQC でおこなっており委員等の引継ぎなどの仕組みが難しくうまくできていない状況です。合同事業で医師会に対し責任のある立場なのできちんとした組織づくりをしておかなくてはならない。
  現状にあった細則に 4/1 より変更したい。変更点は別紙参照。　⇒　　承認

【事務局】

- 討議事項なし

【学術】

- 討議事項なし

【経理】

- 平成 30 年度予算案について別紙参照。　⇒　承認された
- 今後、広島県エイズ日曜検査事業を予算案にいれ完成させメールにて承認をいただきたい
- 総会への道のりの件で関わりのある方は日程調整お願いします。
- 理事会交通費を支給します。地区理事の方は理事経費で、広島地区の方は請求書をメールにて配信するのでＰＤＦ変換し返信してください。
  その後、領収書添付・押印した用紙を経理部長に送る。

【渉外法規】

- 広島県エイズ日曜検査実施および予算内訳について広島県からエイズ日曜検査事業を広臨技に委託してほしいとの提案がありました。現在エイズダイヤルの担当で電話相談、ＨＩＶ検査が行われています。電話相談　毎週日曜　9 時から 16 時ＨＩＶ検査(県病にて)　毎月第 2 日曜　13 時から 16 時　6 月､12 月第 1,3 日曜　13 時から 16 時技師会としてＨＩＶ検査を引き受けようと思っています。予算は別紙のとおり。
  問題として年 14 回、各 3 名のボランティアが集まるかどうか。受託した場合は単年の契約となる。技師会の方向性としてはいろいろなところに出ていくようになっている。
  ボランティアは毎回ちがう人がするのは難しいので最初は核となる人で行い徐々に人を増やしていく。討議の結果、県からの提案について承認された。

【組織調査】

- 討議事項なし

【広報】

- 速報がなくなるため広報運営規約を別紙のとおり改訂したい　⇒　承認された

【広島地区】

- 討議事項なし

【呉地区】

- シンポジウムと懇親会の間の時間が短いため学会受付時に理事の荷物を預かり先にホテルへ持っていくので懇親会の終了後ホテルにて荷物を受け取ってください。

【東部地区】

- 討議事項なし

【東広島地区】

- 来年度の県学会で会場によってはメーカー展示ができない可能性あります。展示はなければならないものでしょうか　⇒　展示なしも可能
  懇親会の会場は従来どおりホテルのようなところでないといけないでしょうか
  ⇒　地域それぞれの対応でお願いします。

【北部地区】

- 討議事項なし

＜お願い＞

宮島会長の所属する自由民主党に入党をお願いします。

「平成 29 年度　初級・職能開発講習会」報告

組織調査部長　渕上浩美

2 月 18 日（日）「平成 29 年度初級・職能開発講習会」が広島赤十字・原爆病院で開催されました。本講習会は、早い時期から医療情勢に興味を持ち、多職種連携の医療の中で活躍できる臨床検査技師の育成を目的とし、日臨技主催の研修会として都道府県単位で開催される研修会です。卒後 4 年～6 年の正会員を対象とし、広島県全域から 46 名の参加がありました。

午前中は宮島会長の講話（ビデオ）「医療現場が求める臨床検査技師像」～多様なニーズに対応できる職能人としてのスキル～があり、続いて横地副会長の基調講演「医療現場が求める臨床検査技師の育成」～多様なニーズに対応できる職能人としてのスキル～がありました。

横地副会長の講演は、現在の医療の社会情勢から今後検査技師がどうあるべきか考えさせられる内容でした。チーム医療の中で検査技師の専門性を活かし、臨床現場（患者のそば）で活躍できる場を持たなければ臨床検査技師は生き残れない。検査室の殻から抜け出し、検査体制の再構築を起こさなければならない。今後、専門検査技師、病棟検査技師、訪問検査技師など臨床検査技師の機能分化が求められる。実際に在宅医療現場で働く技師の説明があり、幅広い知識と対応力が求められますが、将来への可能性を感じました。

午後からはグループディスカッションがあり、6 グループに分かれ午前中の講演内容を基にテーマを決めて話し合い、最後にプレゼンテーションを行いました。同年代の仲間同士日頃の業務内容や、今後の検査室、検査技師の有り方など活発な意見交換を行っていました。

9 時～16 時までの 1 日の講習会でしたが、アンケート結果から「他施設の技師と意見交換できてよかった」との感想が多くあり、今回の研修会が有意義であったものと感じています。

今回の研修会で得たものがこれからの業務に活かせるよう若い技師の行動力・発想力を期待しています。

「平成 29 年度　初級・職能開発講習会」アンケート報告

1．なぜ研修会に参加しようと思いましたか

興味があったから	21名
行くように言われたから	20名
その他	5名
	・友人が参加するので ・行った方がいいと思ったから ・誘われたから

2．会長講話「医療情勢と今後の方向性について」について

よく理解できた	10名
理解できた	35名
よく分からなかった	0名

3．基調講演「多様なニーズに対応する臨床検査技師のあり方」について

よく理解できた	14名
理解できた	30名
よく分からなかった	0名

4-1.グループワークについて

初めておこなった	25名
経験していた	18名
	1回：7名、2回：2名、3回：2名、 5回以上：3名、未記入：4名

4-2. グループワークについて

意見交換できた	29名
あまり意見が言えなかった	5名
意見交換ができなかった	0名

5. e-ラーニングについて

知っている	19名
すでに利用している	0名
今後利用する予定	6名
知らなかった	19名

6. 今後、このような研修会があれば参加したいですか

参加したい	25名
参加したくない	0名
どちらでもない	18名

7. 今回の研修会についての意見

・他病院の同世代の技師さんの日頃の思いや意見を聞くことができてよかった

・同世代の人たちと話し合うことがなかなかなかったので貴重な経験になりました

・同じくらいのキャリアの方たちとのグループワークだったので、気軽に意見交換できて楽しかった。

・今回の研修会で改めて臨床検査技師として今後どうあるべきかを学ぶきっかけになった。

・他施設の取り組みなどがきけたり、これからの医療のあり方などが知れてよかった。

・他の病院がしている仕事内容をしることができてよかった。これから先何年、何十年先のことを考える中で、変わらないといけないと思いました。まずは検査室内から変えるために発言していきたいです。30～40代向けにもしてもらいたいです。

・難しい内容だったけどこのままだと職がなくなると思った。いろいろな施設の現状、不満を聞けたし、共感できた。上の人にはなかなか1人では言いにくい。施設内でも　このような会を開いて若い人が自由に意見を言えて上の人に聞いてもらえたらいいなと思った。

・他施設の方との意見交換は有意義でした。

・対象の卒業年度を明確にしてほしい。

・与えられた仕事を毎日漠然としていたが、今回講習会に参加して今の自分にも何か自発的にやっていかなければいけないと思い、少し意識が高くなったと思いました。

・普段、他の病院の臨床検査技師の仕事内容や状況を聞く機会が少ないため、今回グループワークを実施することで話すことができとても良い機会になりました。

・資料の内容を整理していただきたいです。話にないスライドをなくして、あるスライドを追加をお願いします。スライドの順番を話の通りに並べてほしい。

字が小さくてつぶれているものもあります。大きめ印刷して下さい。

・対象者の卒業年を明確に示してほしい。

・ビデオの音声が小さくて分かりにくかった。他病院の話を聞く機会にもなりよかった。

・同じ年数働ている人達と話せて楽しかった。いい刺激になり、いろんな考え方に触れることができました。

・会長・副会長の講話はすごく良かった。そうなったらいいなと思うことがたくさんあったけど、私たちみたいな若い人が聞いても実践していくには上司　が多くいるので難しいので、その人たちも行くような研修会も開くべきです。アイスブレイキングはアイスクリームがもらえると勘違いした。

・他施設の方のお話が聞けて良かった。

・検査技師の現状・今後の話を聞けて大変おもしろかった。今後も続けてほしい。

・組合の役員なので、管理職と経営のことはよく話をします。しかし、それがなければ医療情勢は分かりませんでした。広臨技の新人レクリエーションでこれをやってもよいかと思いました。

・他施設、同年代の技師と関わる機会を持てたのが良かったです。講習形式も良いですが、こういった研修会が増えたら良いと思いました。

・グループワークはテーマを決めてから話し合うと、時間が足りない気がしたので、テーマをあらかじめ決めてもらうとやりやすかった。

・基調講演は改めて今の現状を知ることができ、また考えさせられる内容でよかった。

・色々な意見が聞けて楽しかった。

・同じ年代の人達とお話が出来て良かった。また開いていただいて、今日の研修会で変わったところとかを話し合いたいです。

・グループワークの課題が難しかった。時間も足りなかった。課題の方向性をある程度示して頂ければ、少し楽だったように思います。

・今回の研修会の話を聞いて、少し話が難しかったです。もう少し上の世代（30代～）になってから聞くとまた考え方や、話のとらえ方が違ったかなと思いました。

・同世代の人と話せてよかった。自分の意識向上につながったと思う。

・他施設の検査の現状を知り意見交換で沢山情報を得ることができました。個人～大学病院等色々な規模の施設　の人と話すことができて大変ためになりました。Eラーニングも大変興味はあるんですが、少し高い。離れた場所での勉強会の内容等もスキルアップのために知れるe-ラーニングはぜひ加入したいのですが、できれば500円だと嬉しいです。

・e-ラーニングがもう少し安くなればいいなと思います。

・e-ラーニングについて興味がありますが、パソコンのインターネット環境がないので、早くスマホでも使えるようにしてほしいです。そして、値段がもう少し下がると使いやすいです。今回の講話を通して、病院検査技師についての話が多く、分からないことが多かったです。（私は検査センターなので）知らないことが知れてよかったです。

・e-ラーニングがあることは知っていいたが、どういったものなのか分かってよかった。（R-CPCで学べるのは興味深い。ただ、月額料金がやや負担に感じる）
利用者同士で質問しあえたり話し合えたりするコンテンツもあると良いのではないか。

・臨床検査技師の立場や現状が分かって非常に有意義な研修会だった。グループワークを通して今後の臨床検査技師の在り方について考えることができたし、今回の研修会でも言われていたコミュニケーションの課題もディスカッションすることで良い機会になったのではと思った。〃

第３５回広島県医学検査学会　報告

～学会を振り返って～　　≪実行委員長　奥田綾子≫

2018 年 3 月 3 日、4 日　第 35 回広島県医学検査学会が、水野誠士会長のもと呉市で開催されました。呉市で県学会が開催されるとわかったときから、私は呉市の特色を出す学会にするにはどうすればいいだろうか。と、いつも頭の片隅で考えていました。そんな中、一般公開講座 2 で講師をしていただいた信友さんの御両親のドキュメンタリー番組を偶然テレビで見て、「これだ！」と思い、まずは信友さんとアポをとることが、私の県学会の第一歩でした。アポをとる手段もなかなか大変でしたが、何人もの人を介してようやく信友さんとつながったときは道が開けたようでとても嬉しかったです。

また、多くの方にこの県学会に参加してもらう事で、信友さんを含め講師として引き受けて下さった先生方に最高の感謝の気持ちを表すことができるのではないかと思い、学会の宣伝にも力を入れました。実行委員、実務委員だけに限らずたくさんの呉の技師や私のまわりの方が協力してくれました。また運良く、両日とも天気にも恵まれたため多くの方が足を運んでくださいました。

最後に、会長をはじめご協力していただきましたすべてのみなさま、本当にありがとうございました。

第３５回広島県医学検査学会　広報部レポート

第 35 回広島県医学検査学会が平成 30 年 3 月 3 日～4 日の 2 日間にわたり「つなぐ～社会に貢献できる臨床検査技師を目指そう in 呉～」をテーマにくれ絆ホールで開催されました。

学会最初のプログラムは「認知症と向き合おう」をテーマに認知症の分野でご活躍されている鳥取大学の浦上克哉先生をはじめ作業療法士の谷川良博先生、認知症看護認定看護師の雛田圭子先生と認定認知症領域検査技師の西野真佐美先生の 4 名によるシンポジウムが行われました。認知症の最新情報、予防医学、多職種の役割など盛り沢山な内容で認知症に関する知識を深めることが出来ました。

懇親会は City Plaza すぎや で行われ、多くの方々が参加されました。バンドやエンターテイメントさらには呉市に関するクイズもあり、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

学会 2 日目は一般演題からスタートしました。様々な症例報告や検討報告が 15 題あり、活発な意見交換が行われました。

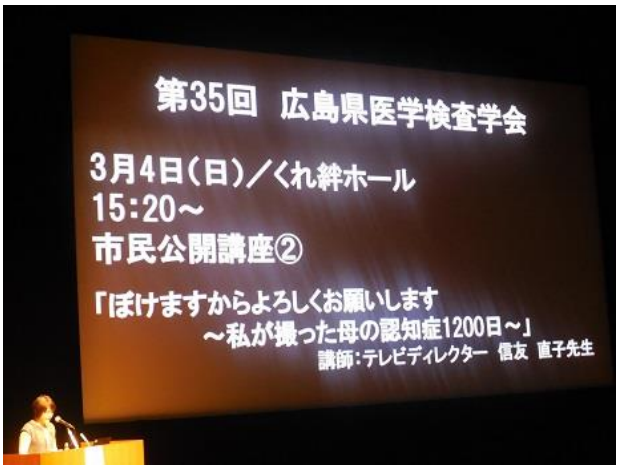
ランチョンセミナーは沖本信和先生による「骨粗鬆症診断・治療における骨代謝マーカーの見方と 250H ビタミン D 測定の必要性」と横山知子先生による「性差・医療の概要と循環器疾患の性差」の 2 演題ありました。

そして２日目の午後からは呉氏くんの登場で会場が盛り上がった後、市民公開講座が始まりました。一般市民 200 名を超す参加があり関心の深さがうかがえました。

市民公開講座①では、「働き方改革における治療と仕事の両立支援」と題して、中国労災病院治療就労両立センターの豊田邦彦先生にご講演していただきました。現代のニーズに応える「働き方改革」についてわかりやすく丁寧な説明をしていただきとても勉強になりました。臨床検査プロモーションに続き、市民公開講座②が始まりました。呉市出身の信友直子先生（テレビディレクター）にご講演していただきました。「ぼけますから　よろしくお願いします」～私が撮った母の認知症 1200 日～と題して、フジテレビの Mr.サンデーでも放送された映像とお話から認知症の現状とそれに伴う介護の壮絶さを知ることができました。また、その中に深い家族の愛情を感じとても感動いたしました。

市民公開講座が終了後、一般演題優秀賞の表彰式では、広島市立広島市民病院の小林沙耶香技師が受賞されました。最後に奥田綾子実行委員長の閉会の挨拶により、大盛況のうちに閉会となりました。

（*広報部　河野亜衣*）



第 35 回広島県医学検査学会優秀演題賞をいただいて

地方独立行政法人　広島市立病院機構　広島市立広島市民病院
小林沙耶香

この度は、「当院における小児採血への取り組み」において優秀演題賞という名誉ある賞を受賞させていただき大変光栄に思います。予想していなかったことにとても驚き、当病院での取り組みが評価されたことを嬉しく思います。また、本発表に携わっていただいた検査技師、看護師、医師の皆様に深く感謝申し上げます。

今回、BC･ROBO - 8000RFID を導入したことを契機に小児採血準備の見直しを図り、採血環境の改善に取り組んだことを発表させていただきました。患者負担の軽減、インシデントの削減に繋がり、他職種とのコミニュケーションの大切さを再認識できました。

採血方法の改善では、プレパレーションとディストラクションを取り入れて、看護師と保護者と共に小児採血を行っております。時間や人手がかかりうまくいかないことも実際にはありますが、全体的には泣いたり暴れたりすることが減り、採血後に笑顔がみられることもあり、ストレスを軽減できたことを実感しています。これからも経験を積み重ね、看護師と協働し採血技術を向上させ、小児病棟への業務拡大に積極的に取り組んで行きたいと考えております。

最後に、審査していただいた先生方、学会実行委員の皆様に心より感謝申し上げます。

ピンクリボン de カープ　ボランティア募集

対 阪神タイガース戦（デーゲーム）

毎年恒例となった「ピンクリボンｄｅカープ」乳がん予防啓発キャンペーンを今年も開催します。
広島県民にがん予防に関する正しい知識の普及と早期発見・早期治療の重要さを PR することにより、臨床検査技師の存在をアピールしたいと考えています。
そこで、キャンペーンのお手伝いをして頂けるボランティアを募集します。お手伝いをして頂ける方は必要事項を記入の上、FAX にてお申し込み下さい。

記

◆　日時：平成 30 年 5 月 13 日（日）8 時 45 分集合（※詳細については後日連絡します）
◆　場所：マツダスタジアム広島　正面ゲート付近　ピンクテント
◆　内容：会場づくり、協賛品の袋詰め・協賛品渡し、グッズの搬入・販売など
◆　募集人員：10 名程度
◆　締め切り：平成 30 年 4 月 20 日(金)　(定員になり次第募集を締め切ります)
◆　申し込み先：広島市立安佐市民病院　中島静　FAX(082)815-6633
◆　その他：協力謝礼金 3,000 円、弁当支給（※初めて参加される方にはピンクリボン T シャツ支給）

尚、詳しいことが知りたい方は安佐市民病院　中島 Tel(082) 815-5211 までお問い合わせ下さい。
イベントの詳細は「ブレストケアピンクリボンキャンペーン in 広島」へ。

http://breastcare-h.com/

以上

……

施 設 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会員番号	氏　名	メールアドレス	Tシャツ
			M ・ L
			M ・ L

※ピンクリボン T シャツを持っていない方のみ選んでください！

広島・西部地区レクリエーションのご案内

奇跡の企画！　℃℃℃(ドドドォー!!!)

パーティーベランダでカープを応援しよう！！
広島・西部地区の皆さま 多数ご参加ください

地元カープの応援をするとともに，会員相互の親睦と意見交換を目的に，広島・西部地区レクリエーションを開催いたします。今年度も大好評の“パーティーベランダ”をゲットできました。
今年こそ！日本一を目指すカープを応援するとともに，“広臨技”をドドドォー!!!っと盛り上げていきましょう。今回は，ゴールデンウイークのデイゲームです。奮ってご参加いただきますよう，ご案内申し上げます。

＜募集要項＞

日　　時：平成 30 年 4 月 30 日(月・祝日)
集合場所：**広島 PARCO パーティーベランダ　11 時 30 分　(12 時ごろより食事を開始)**
　　会場情報：http://www.carp.co.jp/ticket/zaseki/partyveranda.shtml
観戦試合：平成 30 年 4 月 30 日(月・祝日)　対 阪神タイガース　13 時 30 分（試合開始）
開催場所：MAZDA　Zoom－Zoom スタジアム 広島　　広島市南区南蟹屋 2 丁目 3 番 1 号
募集人数：**140** 名（広島・西部地区会員，賛助会員，広島・西部地区会員の家族）
参加費　：会費 8,000 円（観戦料＋ライブキッチンビュッフェプラン 4,500 円付）
　　＊広島・西部地区会員は福利厚生助成金 1,000 円あり
申込期間：**平成 30 年 4 月 2 日（月）～4 月 9 日（月）**　**“フライングなど期間外の申込は無効です“**
申込み先：申込書に記入のうえ広臨技事務所へ FAX をお願いします。受領後，申込確認 FAX を返信します。
【重要】4 月 10 日までに返信がない場合、翌 11 日 15 時までに下記へお問い合せください。
問合せ先：三舛　正志　（ミマス　マサシ）
　　JA 広島総合病院　臨床研究検査科
　　メール：snowmanmimasu@gmail.com　電話：0829-36-3111（内線 5304）

＜注意事項＞

1. 3 月 31 日までに平成 30 年度技師会会費納入済の方が参加対象となります。
   (新入職者で入会手続き中の場合も参加対象となります。)
2. 申込みは，先着順です。140 名に達した時点で終了とします。
3. 申込み期間終了後のキャンセルは，受け付けません。
4. 参加費は，事前支払といたします。可能な限り施設内で取りまとめてください。
5. 当日欠席しても，参加費の支払いは生じますのでご了承ください。
6. チケットは，試合の 4～5 日前までに，施設へ送付いたします。

広報部連絡・専用E-Mail　＜koho@hiroringi.or.jp ＞

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。
モバイル端末からのメール送信も可能です。
(次号速報の原稿〆切りは４月９日です)

広島・西部地区レクリエーション参加申し込み書

平成 30 年 4 月 30 日（祝日）カープＶＳタイガース

施設名

部署名

連絡代表者　　緊急連絡先

氏名　　携帯番号など

TEL　　領収書　要　不要

FAX

連絡代表者

アドレス（必須）　　@

チケット

送付先

	ご氏名	会員番号	賛助/家族
1			
2			
3			
4			
5			
6			

申込期間：平成 30 年 4 月 2 日（月）～4 月 9 日（月）“フライングなど期間外の申込は無効です“

連絡代表者も申込書に記入してください。会員番号の記入がない場合、福利厚生助成は受けられません。ご家族は家族と記入してください（3 歳から 1 名とカウントされます）。
参加費は施設でまとめて下記担当者へお支払いください。事前の支払が困難な方は当日会場にて受け取りますが事前に連絡して下さい。賛助会員の方は、可能な限り事前に下記担当者へお支払いください。
【注意】先着順のため，申込み期間中に 140 名に達した時点で終了です。
送付先：広臨技事務所 FAX　082-502-6031
担当者　広島地区理事　中電病院　吉井　恵子　377689@pnet.energia.co.jp
広島地区理事　JR 広島病院　桑原　隆一　kuwa_ryuichi@yahoo.co.jp
西部地区理事　JA 広島総合病院　三舛　正志　snowmanmimasu@gmail.com